

あなたの一票を

い わ む る 年 治

右室としはる

コロナから
いのち・くらしを守る

市議会議員候補

ロシアのウクライナ侵略に抗議、即時撤退を

政策・提案力で
議会を **リード**

日本共産党



くらし・子育て・福祉・まちづくり みなさんの願いを



いわむろ 年治市議候補に 託してください

プロフィール

1990年初当選以来、市議8期。副議長、監査委員、議会運営委員会委員長、総務・教育の両常任委員会委員長、議会改革協議会会長など歴任。住所＝逗子市逗子5丁目

- 小児医療費助成の所得制限をなくす
- 学校給食の無償化
- 国民健康保険料の軽減、18歳以下の均等割り廃止
- 公共施設のトイレに生理用品の設置
- 逗子・葉山地域に保健所の設置を
- 高齢者の補聴器購入への助成
- 高齢者の京急ふれあいパス購入助成
- 崩落危険がある崖や斜面緑地の防災対策強化
- 池子の医療保健センターへの進入路早期返還

コロナ対策で逗子市長に申し入れ

接種会場・スマイルへのシャトルバスの運行は、市内全域にルートを拡大するよう要望。県と連携し後遺症の実態調査と相談窓口の設置を。

共産党の2議席 議案提案権をフル活用して

みなさんと力をあわせ 市政を動かす力に

- 9月から実施へ
- 温かい中学校給食
- 小中学生に市営プール
- 無料利用券完全復活
- 小児医療費助成
- 中学3年まで実現
- 4月から小中学校の
- トイレに生理用品配置

つねに市政を チェック 願い実現へ ねばり強く とりくむ

▶いわむろ年治議員は「市民の声を市政に届け、実現に力をつくす」「議員は行政をチェックし、監視していくことにある」という立場で議会活動。

「いわむろ議員の質問内容は理路整然とし、非常にしっかりしています。よく勉強されている」

—市当局の声です。

▶小児医療費助成拡充の提案にたいし前市長が廃案にしましたが、いわむろ議員はその後もあきらめずに提案し、実現を迫った結果、中学3年生まで拡大することにつながりました。

▶前市長による図書館民営化方針を撤回させ、小中学生のプール無料券を廃止から救い、復活。いわむろ議員の提案・議論が力になりました。深夜花火禁止条例、路上喫煙禁止条例など他党派ともに共同提案し、実施に力を尽くしました。

▶毎月第2日曜日、池子全面返還を要求する「池子定例デモ」を、ねばり強く続けて48年、581回を数えました。

▶市議会の定例会ごとに党逗子市議団発行の「逗子民報」を発行。みなさんに市政報告を欠かしません。

戦争は
ダメ

ロシアのウクライナ侵略に乗じた米国と「核兵器の共有」など、とんでもありません

非核3原則を守り、憲法9条生かした平和外交を

平和の願いの一票は
いわむろ年治候補へ